

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
からだの構造と機能の根幹となる教科です。からだかどのような仕組みによって働いているか知る。特に生理学Ⅲでは、1年次で学習した生理学を基盤として疾病の病態生理学を概説できる。							
《成績評価の方法と基準》							
1. 定期試験 100%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
東洋療法学校協会編:生理学 第3版 東洋療法学校協会編:病理学 東洋療法学校協会編:臨床医学総論・各論 プリント							
《授業外における学習方法》							
生理学に関しては、数多くの参考書・問題集が出版されており、授業のなかでも紹介していきます。医学の根幹となる科目となり、わからない箇所は、その日のうちに質問するよう心がけてください。また、その日に習った内容はその日のうちに復習してください。							
《履修に当たっての留意点》							
生理学は深く勉強すれば深く勉強できる教科です。ただし、はり師きゅう師に求められる内容(テキストに記載されている内容)は最低限理解する必要があります。臨床医学にもつながる科目です。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫に働く細胞		プリント教科書	教科書の内容を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	白血球の働き①				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫に働く細胞		プリント教科書	教科書の内容を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	白血球の働き②				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫に働く細胞		プリント教科書	教科書の内容を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	白血球の働き③				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の作用と血液疾患の病態理解		プリント教科書	教科書の内容を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	血液の作用の復習と血液疾患の病態生理学を理解する				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の機能と心臓疾患の病態理解		プリント教科書	教科書の内容を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	心機能の復習と心疾患の病態生理学を理解する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の機能と呼吸器疾患の病態理解	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	呼吸機能の復習と呼吸器疾患の病態生理学を理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器の機能と消化器疾患の病態理解①	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	消化機能の復習と消化器疾患の病態生理学を理解する①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器の機能と消化器疾患の病態理解②	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	消化機能の復習と消化器疾患の病態生理学を理解する②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓の機能と肝臓疾患の病態理解	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	肝機能の復習と肝疾患の病態生理学を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌の機能と内分泌疾患の病態理解①	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	内分泌腺、ホルモンの作用の復習と内分泌疾患の病態生理学を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌の機能と内分泌疾患の病態理解②	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	内分泌腺、ホルモンの作用の復習と内分泌疾患の病態生理学を理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器の機能と泌尿器疾患の病態理解	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	泌尿器の作用の復習と泌尿器疾患の病態生理学を理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器の機能と産婦人科疾患の病態理解	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	生殖器の作用の復習と産婦人科疾患の病態生理学を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝機能と代謝疾患の病態理解	プリント教科書	教科書の内容を一読しておく
		各コマにおける授業予定	栄養素の作用の復習と代謝疾患の病態生理学を理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	プリント教科書	教科書p.68～p.71を一読しておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		